



歴史街道  
REKISHI KADO

重要伝統的建造物群保存地区

# なら かしはら 今井町

かつて「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄した町  
現在も、五百軒もの町家が連なります。



## 伝統的建造物群保存地区とは

昭和50年の文化財保護法の改正によって、伝統的建造物群及びこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存しようとする制度です。  
今井町は、寺内町として、平成5年12月8日に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。

## 今井町の歴史

今井の地名は至徳・元中三年(1386)の興福寺一乗院の文書にみえますが、今井町の成立は戦国の世、天文年間(1532~1555)この地に一向宗本願寺坊主の今井兵部卿豊寿によって寺内町が建設されたことに発します。一向宗の門徒が、都市計画に基づき今井に御坊(称念寺)を開き、自衛上武力を養い、濠をめぐらしました。永禄十一年(1568)織田信長が、足利義昭を擁して上洛以来、本願寺は反信長の旗を立て、今井もそれに呼応し、寺を中心とした城塞都市の形態を整え、抵抗しましたが、天正三年(1575)明智光秀を通じて信長に降服し、事なきを得ました。かくして信長から赦免の朱印状が今井郷に下され、「万事大阪同前」として自治特権を許されました。その後、大阪や堺などとも交流がさかんになり商業都市として変貌をとげ、江戸時代には南大和最大の在郷町となって、今井札(銀札)を発行するまでに栄えました。

## 今井町の町並み

称念寺を中心とした寺内町今井は、江戸時代初期の概略では、東西600m、南北310m、周囲には環濠土居を築いた戸数1100軒、人口約4,000数百人を擁する財力豊かな町でした。町割は西、南、東、北、新、今、の六町に分かれ、9つの門からは木橋を通して濠を渡り、外部の道路と連絡しています。内部の道路で見通しのきくものではなく、ほとんどが一度屈折させてあります。これは、敵の侵入に備えて、その遠見、見通し、弓矢・鉄砲の射通しを不可能に

するためでした。これらは当初、軍事目的のためにつくられたのですが、江戸時代中頃は富裕な商人の生命、財産等を外部から守るというのに変貌しました。

現在も、今井町の大半の民家が江戸時代以来の伝統様式を保っており、慶安3年(1650)の今西家をはじめとして、美しい民家が数多く建ち並び、今なお、町全体が戦国時代にできた寺内町の歴史の重さをうつしりと感じさせています。

# 今井町

重要伝統的建造物群  
保存地区

戦国時代に織田信長と戦ったまち今井町  
そこでは歴史ある町並みを散策できます。

## 凡 例

■ 環濠復元

A~I 重要文化財

□ 重要伝統的建造物群保存地区

■ 環濠跡

J~L 県指定文化財

トイレ

■ 伝統的建造物

M~Q 市指定文化財

BK 銀行

■ 旧町名の案内標示板



### A 今西家住宅

☎ 0744-25-3388



事前連絡要 見学有料

今井町の西端にあり、懇年寄の筆頭をつとめていた家です。慶安3年(1650)に再建された民家ですが、城郭のような構造で別名「八つ棟造り」と呼ばれている豪壮な建物です。

[昭和32年6月18日指定]



### B 豊田家住宅

☎ 0744-25-0418



旧は材木商「西の木屋」牧村家の所有で、幕末には大名貸しを行い藩の蔵元等をつとめていた豪商です。建物は寛文2年(1662)に建設されたもので、今西家住宅と並び今井町における上層町家の好例です。

[昭和47年5月15日指定]



### C 中橋家住宅

非公開



称念寺の筋向かいにあり、屋号を「米彦」といい江戸時代は米屋を営んでいました。主屋は、18世紀後半頃に建てられた平屋建の町家でしたのが19世紀初頭頃、正面通りに「厨子(つし)二階」が増築されました。

[昭和47年5月15日指定]



### D 上田家住宅

☎ 0744-23-5457



事前連絡要 見学有料

今西家・尾崎家と並び懇年寄をつとめていました。主屋は祈禱札から延享元年(1744)頃の建築とみられます。入口を西側に設け屋根も他家と異なっています。内部は懇年寄の特権からか装飾的な要素が多いです。

[昭和47年5月15日指定]



## 施設関係一覧表 (市外局番 0744)

- 今井まちなみ交流センター「華蔓」(旧高市郡教育博物館)  
☎ 24-8719・㈹ 24-8719
- 今井町観光情報館(日本の寺子屋) 水曜休館  
☎ 48-0805
- 今井まちづくりセンター 月曜休館  
☎ 29-9885
- 今井まちや館 月曜休館  
☎ 22-1287
- 今井景観支援センター 土・日・祝休  
☎ 29-7815
- 今井町並保存整備事務所 土・日・祝休  
☎ 29-7815・㈹ 24-9712
- 中町筋生活広場(防災小屋・防火水槽)
- 南町筋生活広場(南口門・防火水槽)
- 旧西町生活広場(防火水槽)
- 旧北町生活広場(防災小屋・防火水槽)
- 今井都市緑地
- 今井第二都市緑地
- 今井児童公園(防火水槽)
- 北環濠小公園(防火水槽)
- 今井蘇武橋公園

歴代の豊田家当主が収集した江戸時代中期から明治時代初期の書画、骨董、陶器、古美術品と商家当時の生活を偲ぶ生活用品を展示しています。毎年春・秋期前に展示品を入れ替えており、今井町の歴史を細やかに知ることができます。



紙半 豊田記念館 見学有料  
TEL.0744-24-0348 (※年末年始)

## 至南阪奈道路

24

市指定文化財	
M 旧常福寺観音堂	(昭和51年12月1日指定)
N 称念寺太鼓楼	(平成6年11月7日指定)
O 称念寺庫裡・客殿・対面所	(平成10年3月20日指定)
P 順明寺表門	(平成6年11月7日指定)
Q 旧常福寺表門	(平成6年11月7日指定)

[平成2年3月9日指定] L 旧高市郡教育博物館	
今井まちなみ 交流センター「華蔓」	(県指定文化財)
明治36年(1903)に建てられた社会教育施設です。昭和4年より今井町役場として長く使用されていました。修理にあたり旧状に復元し、今井まちなみ交流センター華蔓として再生しました。	

\*月曜休館③、④(祝日の場合は翌日)



# 守られてきた伝統を今に伝える—



もっと今井



## 旧米谷家住宅 [内部見学無料]

TEL0744-23-8297

※月曜休館

中町筋北側に面し、切妻造、本瓦葺き、平入りで立ちの低い町家です。内部は東側に通り土間、土間の隅はシモミセを取り、居室は珍しく五間取りです。裏庭に建つ土蔵は、数奇屋風の蔵前座敷を付属しています。旧米谷家は、今井町には珍しい広い土間、煙返しなど、農家風民家のイメージが強い建物です。

